

令和6年7月26日配信

文部科学記者会・科学記者会 加盟社 各位

文部科学省広報室・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 主催

メディア懇談会 開催のお知らせ

文部科学省広報室と大学共同利用機関法人 人間文化研究機構は、文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方々をお招きし、人間文化研究の最先端の研究をご紹介しますメディア懇談会を開催します。

【開催概要】

▼申込フォーム

日時：令和6年8月2日（金）17:00～18:30（16:45～受付開始）

場所：文部科学省12階 記者会見室（※現地参加推奨）

申込方法：下記フォームから【8月1日（木）午前9時】までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/s86ZGzGWGv>



プログラム：

17:00 研究者トーク・質疑応答 …人間文化研究機構の研究者4名が発表を行います。

18:05 懇談 …自由に懇談可能です。

18:30 終了予定

【研究者トーク登壇者】 若手からベテランまで、4名の研究者が多様な研究活動を紹介します。

<p>国立国語研究所 朝日 祥之 教授</p>	<p>国際日本文化研究センター 孫 詩彧(そん しいく) 助教</p>	<p>総合地球環境学研究所 大西 雄二 特任助教</p>	<p>国立民族学博物館 島村 一平 教授</p>
<p>発表テーマ 多言語・多文化社会 における言語問題に 関する研究</p>	<p>発表テーマ 東アジアの家族：実証調 査に基づいた社会学分析</p>	<p>発表テーマ アンデス文明の謎を解く 安定同位体分析 ～古代人の移動と資源利 用の変遷を辿る～</p>	<p>発表テーマ シャーマニズム研究と ヒップホップ研究を架 橋する</p>

● 研究者トーク 登壇者紹介

国立国語研究所（国語研）

氏名 朝日 祥之 教授
発表テーマ 多言語・多文化社会における言語問題に関する研究
専門分野 社会言語学、日本語学、言語学
プロフィール 1973年生。大阪大学大学院博士後期課程修了（2004年）。博士（文学）。現在、国立国語研究所研究系教授。
編著書に Handbook of Japanese Sociolinguistics（編著、de Gruyter Mouton, 2022）、『言語コミュニケーションの多様性』（編著、くろしお出版、2022）、『アメリカ・ハワイ日系社会の歴史と言語文化』（編著、東京堂出版、2015）、『サハリンに残された日本語樺太方言』（明治書院、2012）などがある。



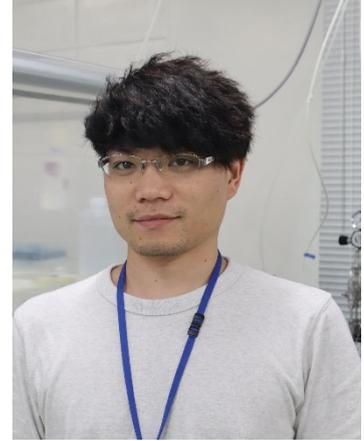
国際日本文化研究センター（日文化研）

氏名 孫 詩彥(そん しいく) 助教
発表テーマ 東アジアの家族：実証調査に基づいた社会学分析
専門分野 家族社会学、ジェンダー
プロフィール 2020年北海道大学博士課程修了、博士(教育学)。名古屋大学研究員、札幌学院大学非常勤講師、北海道大学特任助教を経て2023年より現職。中国国家奨学金受賞(中国教育部、2013)。著書に『家事育児の分担にみる夫と妻の権力関係：共働き家庭のペアデータ分析』（明石書店、2022）など、ほかに論文・翻訳書多数。生理用品の一般提供を研究する GASP_STUDY グループリーダー。



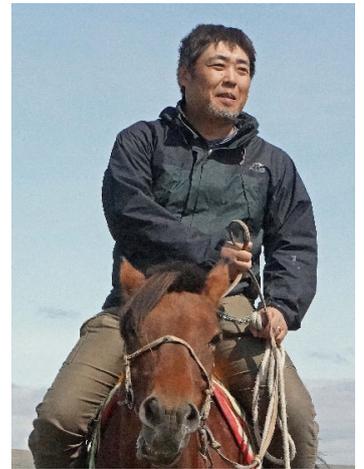
総合地球環境学研究所（地球研）

氏名 大西 雄二 特任助教
発表テーマ アンデス文明の謎を解く安定同位体分析
～古代人の移動と資源利用の変遷を辿る～
専門分野 安定同位体地球化学
プロフィール 岡山大学（博士（理学））。海洋研究開発機構、京都大学生態学研究センターを経て、現職。主に軽元素の安定同位体比を利用した水域生態系における物質循環研究を行ってきた。現在は、安定同位体比と人文学研究を融合させ、過去から現在における人類の資源利用の歴史の解明を目指す人・モノ・自然プロジェクトに従事。



国立民族学博物館（民博）

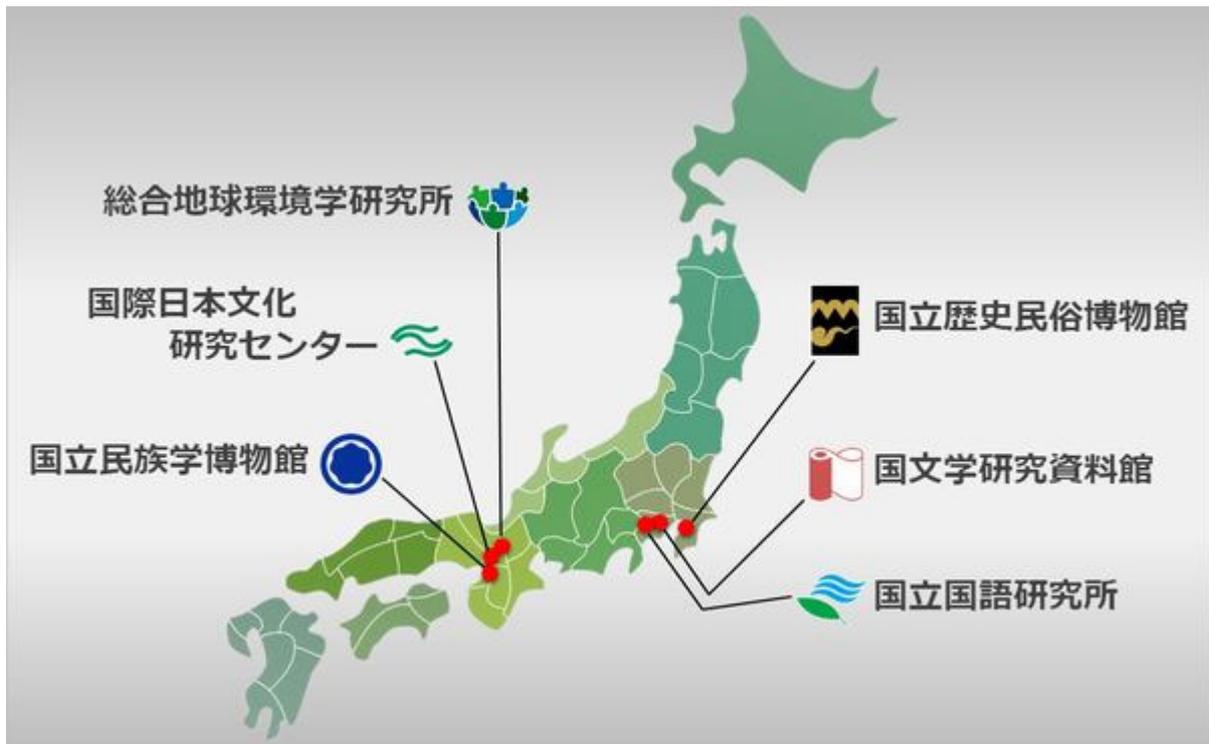
氏名 島村 一平 教授
発表テーマ シャーマニズム研究とヒップホップ研究を架橋する
専門分野 文化人類学、モンゴル研究
・シャーマニズム研究
・現代モンゴルにおける仏教実践にかかる研究
・チンギス・ハーン表象とモンゴル・ナショナリズムに関する研究
・現代モンゴルの“民族衣装”に関する研究
・モンゴル・ヒップホップ研究
プロフィール ドキュメンタリー番組制作会社に就職後、取材で訪れたモンゴルに魅了され制作会社を退社。モンゴルへ留学し研究者の道へ進む。モンゴルのシャーマニズムをナショナリズムやエスニシティとの関連から研究する。2013年度日本学術振興会賞、地域研究コンソーシアム賞、2014年度大同生命地域研究奨励賞、2016年総研大科学者賞、2024年モンゴル国北極星勲章をそれぞれ受賞。



Press Release

● 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構とは

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4つの大学共同利用機関法人のうちの1つであり、人間文化研究にかかわる6つの大学共同利用機関(国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館)で構成されています。人文機構は、機構内の機関や機構外の大学等をつなぎ、人間文化研究に関する唯一の大学共同利用機関法人として、人間文化に関わる総合的学術研究・発信に取り組んでいます。



▼申込フォーム

● 申込・問合せについて

参加申込は、前日8月1日(木)午前9時までに下記フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/s86ZGzGWGv>



※文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方であればどなたでもお申込みいただけます。

本件に関するご質問等については、下記担当宛にお問い合わせください。

本件に関する問い合わせ先	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	TEL 03-6402-9234, 9343
本部事務局研究企画課 広報・社会連携係	FAX 03-6402-9240
担当：木村・松浦	E-mail koho@nihu.jp